

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

| | |
|-------------------------------------|--|
| 研究課題名 (受付番号/承認番号) | 外傷患者に対する画像下治療における二酸化炭素造影を用いた血管造影の有用性に関する単施設後方視的研究(B23-022) |
| 当院の研究責任者 (所属・職位) | 医学部救命救急医学 講師 丸橋孝昭 |
| 他の研究機関および 各施設の研究責任者 | なし |
| 本研究の概要・背景・目的 | 外傷の急性期止血戦略において、カテーテル治療＝画像下治療(IVR)は極めて重要な位置付けとなっています。より確実に、必要最小限の血管塞栓で治療するためには、出血源をできる限り同定する必要があります。しかし、治療中に何らかの理由によって出血源が判然としなくなってしまうことが多々あります。私たちの施設では、これまでこうした症例に対して二酸化炭素を用いた血管造影を行うことで、出血源を同定しやすくなることを経験しており、多くの症例を治療してきましたが、この方法は他施設ではいまだ一般的ではありません。そこで本研究では、これまでに二酸化炭素造影を用いてIVRを行った外傷例のデータを用いて、その有効性を検証することを目的とします。 |
| 調査データ 該当期間 | 2012年1月1日から2023年4月30日までに外傷で入院され画像下治療を(IVR)を施行された方において、入院日から退院日までの情報を調査対象とします。 |
| 対象となる患者さん | 2012年1月1日から2023年4月30日に外傷で当院に入院され画像下治療(IVR)を施行された方 |
| 研究の方法 (使用する試料等) | 利用する情報 2012年1月1日から2023年4月30日までに外傷で入院され画像下治療を(IVR)を施行された方において、電子カルテに記載のある入院日から退院日までの診療記録、検査データを利用します。 |
| 試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法 | 他の機関への試料・情報の提供はありません。 |
| 個人情報の取り扱い | 利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 |
| 本研究の資金源 (利益相反) | 本研究の遂行のための費用は、医学部救命救急医学医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。 |
| お問い合わせ先 | 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連 |

絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属・職位:医学部救命救急医学・講師

担当者:丸橋 孝昭(まるはし たかあき)

電 話:042-778-8111(代表)

備 考